



発行所

公益財団法人

大阪交通災害遺族会

〒542-0012 大阪府中央区谷町7丁目4番15号 大阪府社会福祉会館内



TEL.06-6761-5296

FAX.06-6761-8526

郵便振替 00930-2-53131

https://www.pansy.or.jp/

E-mail:info@pansy.or.jp

▲当会ホームページへはこちらからもアクセスできます。

「一本の指のうづき」のために



公益財団法人

毎日新聞大阪社会事業団

常務理事

森野 茂生

みなさん、はじめまして。よろしくお願いたします。せっかくの機会を頂戴しましたので、私どもの団体の歴史や活動を紹介させていただきます。

前身の「大阪毎日新聞慈善団」（大毎慈善団）は1911（明治44）年設立です。大毎社長の本山彦一が、創刊1万号の記念事業として発案しました。新聞社が福祉事業を手がけるのは画期的なことだったそうです。設立にあたっての思いを本山は「一本の指のうづきは、同時に、全身の苦痛である。社会の一隅に、生活に疲れ、病みに苦しむ者の存することは、すなはち、社会全体の悩みでなければならぬ」と記しています。

最初の事業は大阪市内での無料

巡回診療でした。1921（大正10）年からは医師らを乗せた「病院船」を仕立て、河川や運河を使つて各地を巡りました。対象地域は近畿から海外にまで広がり、約30年間で延べ百数十万人を診療したそうです。災害被災者の救援や視覚障害者の支援なども早くから行っています。

こうした大毎慈善団の活動に財政面で貢献したのが、1913（大正2）年に誕生した「宝塚少女歌劇」（後の宝塚歌劇団）でした。慈善団主催で翌年から催した「慈善少女歌劇会」は大評判になり、多額の収益を上げるとともに、少女歌劇が世間に知られる契機となりました。

1946（昭和21）年に「毎日新聞大阪社会事業団」の名称にな

り、2010年には一般財団法人から公益財団法人に移行しました。現在は「国内外の福祉に関する事業」「身体障害者補助犬支援のための事業」「災害救助に関する事業」「国際協力に関する事業」の四つの分野で福祉事業を行っています。

「国内外の福祉に関する事業」の一つに「そよかぜ杯ボウリング大会」があります。交通事故などで保護者を亡くされた方々やそのご家族を励まそうと92年に始まり、昨年は約1000人に参加いただきました。今年の大会は終了していましたが、次回以降、参加をご希望の方がおられましたら、お気軽にお問い合わせください。

日本で最初の交通死亡事故は堺市で1905（明治38）年に起きたそうです。今年はそれから120年ですが、昨年も大阪府内だけで127人が亡くなりました。交通事故死者ゼロの社会を一日でも早く実現するために何ができるのか。福祉事業を通して私たちが考え続けたいと思います。

「第五十四回交通事故物故者合同慰霊祭 ならびに感謝状贈呈式」を執り行いました

私たち大阪交通災害遺族会にとって大切な事業の一つである、今回で五十四回目をむかえた「交通事故物故者合同慰霊祭ならびに感謝状贈呈式」を5月25日(日)大阪府社会福祉会館(大阪市中央区)において執り行いました。

当日は、大阪府、大阪市、社会福祉法人大阪府社会福祉協議会、独立行政法人自動車事故対策機構、社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団大阪事務所、公益財団法人明日花育英会、NPO法人ルミナの各ご代表様と感謝状贈呈者様にご臨席賜り、会員ほか合わせ70名が御霊のもとに集いました。

この合同慰霊祭は、交通事故犠牲者の御霊を慰め、残された家族が助け合い強く生きていることを御霊前に報告、そして交通事故防止を広く強く訴える決意を新たにする式典です。

午後二時、当会本津理事長の挨拶で式



典は始まり、大阪府知事、大阪市長、大阪府社会福祉協議会会長様よりお言葉を賜りました。式典は、第一部 感謝状贈呈式へとすすみ、交通災害遺児・遺族へ昨年度までに温かいお心を寄せ、ご支援くださった企業・団体の皆様に衷心より感謝を表すべく、ご臨席いただいたご代表の方々に理事長から感謝状を贈呈し、会員からはその感謝の気持ちを大きな拍手で表しました。

第二部、交通事故物故者合同慰霊祭へと移り、厳かな空気の中、たくさんの花で飾られた祭壇に交通事故で亡くなられた方々の御芳名を記した名簿が御霊として静かに奉安され、黙祷、そして祭文が捧げられました。2歳の時に事故で父親を亡くした高校生が登壇し、自身の体験と将来への夢、そして、交通事故の悲しさ、交通事故を起こさない起こさせないと、交通安全への願いを訴える「遺児の訴え」を朗読しました。



献花では全員が白菊を手向け、亡き最愛の人へ語り掛けるように静かに手を合わせ御霊の御冥福を祈りました。式典は、森田理事の挨拶をもって滞りなく閉式となりました。

合同慰霊祭ならびに感謝状贈呈式の開催にあたり、ご多忙のなかご臨席賜りました皆様へ御礼申し上げます。

ありがとうございます。

ご挨拶

公益財団法人 大阪交通災害遺族会

理事長 本津 小夜子

本日は、公益財団法人大阪交通災害遺族会「第五十四回交通事故物故者合同慰霊祭ならびに感謝状贈呈式」にご来賓の方々と多くの会員の皆様にご列席いただき執り行うことができましたことを深く感謝申し上げます。大阪府・大阪市をはじめ、ご来賓の方々にはご多用のところご臨席を賜り、また永年にわたり温かいお心でご支援くださる企業・団体・個人の皆様にあらためて厚く御礼申し上げます。そして、本日は京都府亀岡市で無免許の少

年の暴走事件により、お嬢様とお孫様を亡くされた中江様にご臨席賜りました。ありがとうございます。皆様とご一緒に御霊に手を合わせたいと思います。

私たちが交通災害遺族会は、交通事故により大切な家族を失った方々が集まり、お互いに支え合い、そして社会に向けて交通安全の啓発活動を行っております。

交通事故は、一瞬のうちに多くの命を奪い、そのあとに残された家族や友人たちの人生を大きく変えてしまいます。私たちはその悲しみ苦しみを忘れることはありません。同じ思いをする人が一人でも少なくなるよう、交通事故で命が奪われることのない社会をめざして公益目的事業のひとつ交通安全啓発活動に取り組んで参ります。今後とも相変わりますご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、大阪府内における昨年一年間の交通事故件数・死者数・負傷者数は、いずれも前年より減少しており三年ぶりに全国ワーストを脱却しました。

しかしながら、最近は高速道路における逆走や多重衝突事故が多発し、また各地で登下校時の学生の列に車が突っ込み、幼い子どもが犠牲になるという痛ましい事故の報道が続いています。そのうちの

多くは飲酒運転が原因と聞くと強い憤りを感じます。なぜ、お酒を飲んでハンドルを握るのでしょうか。私たちは、この慰霊祭を通じて交通安全の重要性をいまだ一度訴えたいと思います。



お言葉

大阪府知事 吉村 洋文

本日、公益財団法人大阪交通災害遺族会の主催のもと、第五十四回交通事故物故者合同慰霊祭が執り行われるにあたり、謹んで哀悼の意を表します。ここに追悼されます御霊の永遠に安らかなることを御祈り申し上げます。

大阪交通災害遺族会におかれましては、昭和四十六年の設立以来、長きにわたり大阪府内における交通災害遺族の福祉の増進と交通遺児の健全育成を図ることを目的に、交通安全運動をはじめ、交通遺児の育成、育英事業など多岐にわたり取り組んでこられ、交通遺児の皆様方の福祉の増進に大きく貢献しておられますことに深く敬意を表します。

さて、大阪府内の交通事故発生状況につきまして、令和六年中に二万四千七百八十件発生し、百二十七名の方の尊い命が失われています。事故発生件数については、これまでの取り組みの表れと存じますが、令和五年度より減少しており、更なる減少のため引き続き取り組みが必要です。令和六年十一月には、自転車の危険な運転に新たに罰則が盛り込まれた改正道路交通法が施行されました。府としても、安全に利用するためルールブック等を作成するとともに、年間を通して交通安全運動期間の設定や交通事故防止運動など、各種事業の展開を通じて、交通安全に対する啓発活動に努めてまいります。

現在開催している大阪・関西万博では、多くの子ども・若者も来場しております。万博のテーマは、「いのち輝く未来社会の

デザイン」であり、本年三月に策定した大阪府子ども計画の基本理念である「次代を担う子ども・若者が、個人として尊重され、創造性に富み、豊かな夢をはぐくむことができる大阪」に通じるものがあります。万博を通して、次代を担う子どもたちが、将来に向けて豊かな夢を育んでいただけるものと考えます。府としては、引き続き、すべての子どもたちの成長を社会全体で支えていくために取り組んでまいりますので、皆様の御支援・御協力を賜りますようお願いいたします。

公益財団法人大阪交通災害遺族会におかれましては、昭和四十六年の創立以来、永年にわたり「交通安全運動」「福祉活動」「交通遺児の育成・育英」を中心とした支援事業を展開され、交通遺児の健全育成や会員の皆様の福祉の増進に大きく貢献してこられました。本津理事長をはじめ、歴代理事長、役員、会員の皆様方の多大なるご尽力に、あらためて深く敬意を表する次第であります。

最後にありますが、交通事故故者の御霊の御冥福と、公益財団法人大阪交通災害遺族会の会員皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして御挨拶とさせていただきます。

大阪市長 横山 英幸

本日、第五十四回交通事故故者合同慰霊祭が執り行われるにあたり、ここに追悼されます御霊の永遠に安らかなることをお祈りし、謹んで心から哀悼の意を捧げます。

さて、令和六年中の全国及び大阪府内の交通事故発生状況につきましては、事故件数、死者数、負傷者数は前年より減少しておりますが、依然として交通ルールの遵守を無視した飲酒運転や煽り運転など、悪質な運転により命を落とされるという痛ましい交通事故は後を絶たず、そのニュースを耳にするたび、胸が痛み、強い憤りを覚えます。

本市では、人命尊重の理念に基づき、



高齢者、障がい者、子ども等の交通弱者や、道路交通において弱い立場にある歩行者の安全を確保する「人優先」の交通安全思想を基本とした「第十一次大阪市交通安全計画」のもと、関係機関や団体等と連携し、交通安全に関する施策の推進に取り組んでおります。今後も引き続き、交通安全対策の最終目標である「交通事故のない安全なまち大阪」の実現を目指し、市民の皆様とともに、全力で取り組んでまいりますので、皆様方のさらなるお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、交通事故故者の御霊のご冥福を心からお祈りいたしますとともに、ご遺族をはじめ、本日ご列席の皆様方のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます。

・・・・・・・・・・・・・・・・

社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会

会長 井手之上 優

第五十四回交通事故故者合同慰霊祭にあたり、御霊の安らかならんことをお祈りし、ここに謹んで哀悼の意を表します。

大阪交通災害遺族会におかれましては、

設立以来、一貫して交通遺児の健全育成や遺族の福祉向上のため、さまざまな支援活動や社会への啓発活動を行っていたいており、行政をはじめ企業や団体、府民の方々など多くの理解を得て、今まで発展を続けてこられましたことは、ひとえに理事長はじめ役員の方々、会員の皆様のご尽力とご努力の賜物であり、心から敬意を表する次第でございます。

さて、これから2040年に向けて、急速に少子高齢社会が進展する中で、生活のための移動手段の確保の課題はより大きくなる一方で、高齢者による運転事故の多発など課題が深刻化しています。

また昨今の緊迫した政界情勢の中、先行きが見通せない物価高など、生活においてもまだまだ心配の種はつきません。これらの解決のためには一層の交通安全教育の推進と福祉社会の実現を達成しなければなりません。

こうした中、引き続き遺族会が、遺児、遺族の心の支えとなり、また交通事故の減少の推進者として活発な活動をされることを期待しております。

大阪府社会福祉協議会といたしましては、「福祉と共生のまちづくり」の理念のもとで地域福祉活動の推進を図り、安心

と安全のまちづくり運動を展開し、さまざまな生活の困難を感じる人々への支援や子どもや高齢者、障がいのある人など、一人ひとりが孤独を感じたり、孤立させない地域のつながりと「絆」と「地域再生」のネットワークづくりに力を注いでいるところでございます。

今後とも、地域の住民相互に助け合い、支えあえる社会づくりを目指して、地域福祉の推進に取り組んでいく所存でございます。

遺族会の皆様におかれましては、今後とも助け合い励ましあいの輪を広げつつ、力強く歩まれますことを心からご期待申し上げます。

結びに交通事故故者の御霊のご冥福と、大阪交通災害遺族会のさらなるご発展、会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申しあげまして、ごあいさつとさせていただきます。

遺児の訴え

高校1年生 女子

父は私が2歳の時に二度と会えない人となっていました。

父との思い出はほとんどないのですが、私の誕生日に写真に映る父のかっこよくやさしい笑顔を見ると、とても悔しい思いがして辛く悲しい気持ちになります。

母は、当時2歳の私と4歳の兄が悲しむと思い、事故の話をほとんどする事がありませんでした。ニュースで酷い交通事故を目にする事がよくあります。私の父はどんな事故で亡くなったのか知りたいと思い、母に伝え事故当時の状況をやっ

た無免許、無保険、無車検の車に後ろから追突され20メートル程引きずられたあと逃げられ、無念にも32歳の若さで亡くなりました。自転車は2つに折れ曲がり大破し事故の酷さを物語ります。私たちをととても大事にしてくれた最愛の父がどれほど悔しい思いをして亡くなったのか考



えると計り知れなく、加害者を絶対に許すことはできません。

父は仕事の面でも若くして役職に就き、真面目で信頼が厚く誰からも頼られる存在でした。友人も多くお通夜、お葬式では悲しむ人が途切れることなく弔問に来てくださいました。芳名帳を見ましたが、遠くから来てくださった方も沢山いて600名以上の方が駆けつけてくれたことを知り、父の偉大さが分かりました。

そんな父とは対照的に加害者は傷害事件の前科もあり、日常的に飲酒運転をする人物だと裁判でわかりました。

加害者側からの補償は一切なく刑事裁判で実刑判決が下り収監されました。ですが父は帰ってきません。なぜ父がこんな酷い目に遭わなければならぬのか、なぜ幸せだった家族を一瞬で地獄に突き落としたのか、神も仏も信じる事ができなくなりました。

この悲惨な事故で父を亡くし壮絶な悲しみの中、大阪交通災害遺族会のことを知り本当に助けられました。私も幼い頃から大変お世話になり、いろいろなところ

に連れて行ってもらったこと、同じ境遇の人たちだからこそ分かり合える場所

でこのころの支えになったこと、他にもたくさんこの会には救われてきました。これもいつもご支援してくださる方々のおかげだと感謝の気持ちでいっぱいです。

私はこの春、高校1年生になりました。海外に留学するという夢に向かって頑張っています。そして、その先には、社会に出て就職をし、母やお世話になった方々にたくさん恩返しをしていきたいと思っています。私たち遺族の思いを胸に、交通事故で悲しむ人がいなくなることで、日々の生活で交通ルールを守り、命の尊さや交通安全の重要性を改めて考えて欲しいと願って、私の遺児の訴えとさせていただきます。

役員改選のお知らせ

令和7年6月の評議員会、理事会において任期満了に伴う役員改選を行い、左記のとおり新役員が決定いたしました。

評議員	藤 孝子
六車	滋記
西尾	務
理事長	本津 小夜子
理事	伊藤 幸子
森田	由美
山田	真由美
四ツ永	裕子
鹿野	利恵子（新任）
丹羽	正子
辻川	貴美子（新任 外部）
監事	

皆様方には、平素から当会の諸事業に対し温かいご支援とご理解を賜り、こころより感謝申し上げます。役員一同、これからも交通事故防止と交通遺児の健全育成、遺族の福祉増進等の公益目的事業をしっかりと果たすため、誠心誠意力を尽くして参る所存でございます。今後とも相変わりますご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

交通安全啓発情報コーナー

夏の交通事故防止運動

令和7年7.1(火) ▶ 7.31(木)

運動の重点とスローガン

自転車の安全利用の推進

二輪車の交通事故防止

こどもの交通事故防止

飲酒運転の根絶

大阪府交通対策協議会

STOPI ながらスマホ

BLCタイムス

7月号

会員のボランティアグループ
「BLC」の活動を伝えるコーナーです。

BLCパラダイスリポート

「イチゴ狩りと近江牛のBBQ」に
行ってきました！

今年のBLCパラダイスは、
4月20日(日)に子どもたちと
保護者、BLCリーダーの総勢
17名で滋賀県竜王町にある「道
の駅 アグリパーク竜王」へイ
チゴ狩りに行ってきました。
JR大阪駅に集合し電車か
らバスに乗り換えアグリパー
ク竜王に到着。受付を済ませ
桃畑や梨園を抜け、イチゴ狩
り会場となる高野イチゴ園さ
んへ移動し、イチゴの食べ放題
がスタート！広いビニールハ
ウス内にはイチゴが鈴なりに
なっていて子どもたちは美味
しそうな1粒を手にとりパク



リ、「あま〜い」と大喜び。ハウス内には「よつぼし」へかおり野
など5〜7種類のイチゴが栽培されており、さっそく食べ比べをし
て「これが好き！」とお気に入りを見つけていました。甘い甘いイ
チゴをいっぱい食べて大満足のイチゴ狩りでした。お昼はバーベ
キュー。近江牛の霜降り肉はとっても美味しかったです。午後からは、
ふれあい動物園で羊やヤギにエサをあげたり、スワンボートに乗る
など楽しい時間を過ごしました。ご参加の皆さん、BLCリーダー
さん、お疲れ様でした。
また、今事業の実施に際し、費用の一部を有限会社タカエスオー
ト様「Every timeプロジェクト」よりご支援いただきました。
ありがとうございました。

子どもたちの感想

KKくん「バーベキューのお肉が美味しかったです。甘い苺をたくさ
ん食べました。鯉のエサやりが楽しかったです。」
Aさん「滋賀にイチゴ狩りをしに行けて、とてもうれしかったです。
イチゴが甘くてホッパタが落ちそうでした。馬にニンジン
をあげようとしたら、怖くて
できませんでした。ダンスを
して筋肉痛になりました。」
Sさん「イチゴ美味しかったです。
ゆつくり過ごせました。」
Hさん「イチゴおいしかったです。お
肉は口の中でとろけました。」
Sさん「イチゴ100個くらいたべ
たよ。どうぶつのエサやりた
のしかったよ。」



大阪市清掃連合協同組合様ご招待

「神戸須磨シーワールド」のご案内

永年にわたり当会をご支援くださっている大阪市清掃連合協同組合(理事長 川村
知明氏)様が、オープン1周年を迎えた「神戸須磨シーワールド」へご招待くださいま
す。神戸須磨シーワールドへは貸切バスで行きます。オルカスタジアムでは、西日本で
唯一のシャチのショーを観て、昼食はホテルでランチバイキングをいただきます。
参加を希望する方は、当会事務局まで
電話でお申し込みください。



ご招待日時 令和7年9月7日(日)
行 き 先 神戸須磨シーワールド
神戸市須磨区若宮町1丁目3-5
集 合 参加者に別途連絡します
対 象 当会会員の18歳までの子どもと保護者
定 員 20名(定員に達し次第、締切ります)
申 込 方法 当会事務局へ電話で申し込み ☎06-6761-5296 (平日午前9時~午後5時)
申 込 締 切 7月25日(金)午後5時

ご寄付感謝

（ご支援ありがとうございます）

皆様より賜りましたご寄付金は、交通遺児の奨学金や健全育成などの育英資金、遺族の福祉のために大切に使用させていただきます。

株式会社ロードカー 様

関西を中心にボルボ正規ディーラーや車買取専門店ユーボスの事業を展開されておられる株式会社ロードカー（代表取締役 柏原隆宏氏）様は、自動車販売の仕事を手掛けるうえで車の運転は切り離せないものとして、交通安全教育に熱心に取り組んでおられます。



今年も4月15日、本社において新入社員研修会で講話の機会をいただきました。本津理事長から遺族会の活動内容や交通遺児・遺族が置かれている状況などをお話しし、また、運転中のスマホ操作の危険度がわかるDVDを視聴してもらいました。理事長の「皆さんには、被害者にも加害者にもなつてほしくない」との訴えを新入社員の皆さんは、真剣に聞いてくださいました。講話後、同社の全営業所に配置いただいている善意の箱のご浄財を賜りました。心より御礼申し上げます。お寄せいただきましたご浄財は、交通遺児・遺族のため大切に使用させていただきます。ありがとうございます。

堺個人タクシー協会 様

永年にわたり交通遺児・遺族をご支援くださっている堺個人タクシー協会様が5月12日に「第六十回定期総会」を開催されました。そ

同日の打ち上げ会の席で、コンサートの収益金を増田会長より賜り、本津理事長が拝受し感謝の言葉を申し述べました。

このたびは、交通遺児支援のためご尽力くださいました同ロータリークラブの皆様、歌手の皆様、演奏者の皆様、スタッフの皆様、心より御礼申し上げます。ありがとうございます。賜りましたご支援金は、交通遺児のため大切に活用させていただきます。



関西自動車学院 様

6月3日、貝塚市にある関西自動車学院（代表取締役 南正夫氏）様において、交通安全啓発ラッピング自販機設置除幕式が行われました。この自販機は、大阪府・大阪府警察・関西キリンビバレッジサービス株式会社が協働製作されたもので、交通安全啓発を促し、広く大阪府民の交通安全意識の高揚を図ることを目的としています。除幕式では、大阪府警のマスコットキャラクターのフーくん・ケイチちゃん、描かれた自販機が近隣幼稚園の子どもたちによってお披露目されました。

設置にあたり大阪府警察本部 中嶋交通部長より同自動車学院様へ感謝状が贈られました。また、この自販機の販売収益の全額を当交通災害遺族会へご寄付くださるとの事で、ご協力くださいました皆様に心より御礼申し上げます。

賜りましたご寄付金は、交通遺児・遺族のための福祉増進、育成事業に大切に活用させていただきます。ありがとうございます。



の席上、西當伸児理事長より当会へ心あたたまるご寄付金の授与があり、本津理事長が拝受し当会からは感謝状を贈呈いたしました。

同協会には、大阪府堺市内の個人タクシー事業者134名が加入され、安心・安全・快適な乗り物として地域の公共交通機関の一翼を担っております。

当会への変わらぬご支援に心より感謝申し上げますとともに、堺個人タクシー協会様ならびに協会員の皆様のお一層のご繁栄を祈念しております。

箕面千里中央ロータリークラブ 様

5月24日、箕面市立文化芸能劇場小ホールにおいて「第4回交通遺児支援 チャリティコンサート」が開催されました。このコンサートは箕面千里中央ロータリークラブ（会長 増田俊氏）様が、交通事故で家族をなくした子どもたちへの支援、そして少しでも心のサポートになればという願いを込めて主催してくださったもので、今回で4回目となります。今年も当会会員やご支援者様など50名をご招待くださいました。



コンサートは、18名の歌手の方々とピアノ・キーボード奏者の方々がボランティアでご出演くださり、シャンソンを中心に映画音楽やポップス、タンゴなどを歌われ、その素晴らしい歌声に客席の皆さんは魅了されました。終演後には、出演された皆さんが募金箱を手にロビーで募金活動まで行ってくださいました。心より感謝いたします。

交通安全啓発ラッピング自販機を設置いただきました

- 株式会社 大阪酒販会館 様（大阪市天王寺区）
 - ウエルネオシユガー株式会社 関西工場 様（大阪府城東区）
 - 中野運送株式会社 西大阪 様（大阪府西淀川区）
 - 学校法人 浪工学園 星翔高等学校 様（摂津市）
 - サカイサイクル株式会社 本社 様（大阪府住之江区）
 - サイクルヒーロー 和泉店 様（和泉市）
 - サイクルヒーロー 美原店 様（堺市美原区）
 - サイクルヒーロー ときはま金岡店 様（堺市北区）
 - サイクルヒーロー 富田林店 様（富田林市）
 - サイクルヒーロー 堺本店 様（堺市中区）
 - 関西自動車学院 様（貝塚市）
- ご協力ありがとうございます。

令和7年度 大阪交通災害遺族会 奨学金貸与を実施しました

令和7年度に申請のあった奨学金貸与希望者について書類の確認と面談を終え、高校・大学・専門学校生4名に対し5月15日に奨学金貸与を実施しました。

当会の奨学金は、企業・団体・個人の皆様よりのご寄付を基金として、無利息で貸与を行っております。

ご支援賜ります皆様のおかげをもちまして、今年度も実施することが出来ました。ありがとうございます。

当遺族会にあたたいご寄付金を賜り ありがとうございます

(自 令和7年4月1日 至 5月31日)

4月4日	大仲和子 様
7日	商都交通株式会社様配置 善意の箱ご協力の皆様
9日	大阪府西淀川警察署様配置 善意の箱ご協力の皆様
9日	大阪府警察本部 交通部 交通総務課様配置 善意の箱ご協力の皆様
9日	一般財団法人 大阪府地域福祉推進財団様配置 善意の箱ご協力の皆様
17日	匿名 様
18日	大阪都島自動車学校 様
21日	大阪都島自動車学校様配置 善意の箱ご協力の皆様
22日	株式会社 ギャルソン 様(布施交通安全自動車協会経由)
30日	有限会社 タカエスオート『Every timeプロジェクト』様
30日	相愛学園同窓会 藤の実会 様
5月1日	株式会社 ロードカー 様
7日	有限会社 タカエスオート 様
12日	梅田運輸倉庫株式会社 様
12日	梅田運輸倉庫労働組合 様
13日	堺個人タクシー協会 様
22日	上本 恒子 様
22日	公益財団法人 明日花育英会 様
25日	一般社団法人 大阪府トラック協会・中央支部 様
26日	栄町商店会(高槻市) 様
27日	箕面千里中央ロータリークラブ 様
30日	有限会社 小西酒店様配置 善意の箱ご協力の皆様
30日	東中 充則 様

温かい贈り物 ハガキ・切手のご寄贈

ハガキ …… 20枚
ありがとうございます。大切にに使わせていただきます。

◆お知らせ◆

親子コミュニケーション旅行の
行先が決定しました！

徳島県方面「阿波踊り会館とロープウェイで行く眉山」
今年の日程は、11月9日(日)です。
参加申込みならびに詳細については、
次号9月号に掲載します。



お願い

会員の皆様へ… 住所または連絡先、各種の変更は、
必ず事務局までお知らせください。

目次

巻頭言……………	P 1
第54回交通事故物故者合同慰霊祭りレポート……………	P 2 ～ 6
役員改選のお知らせ……………	P 7
交通安全啓発情報コーナー……………	P 7
BLCタイムス……………	P 8 ～ 9
「神戸須磨シーワールドご招待」ご案内……………	P 9
ご寄付感謝……………	P 10
令和7年度奨学金貸与実施について……………	P 11
ご寄付者様名簿・お知らせ・目次……………	P 12